

エクボクローク、金沢・新神戸・広島駅にサービス拡大

Edited By LogisticsToday On 2018/07/26



荷物一時預かりシェアリングサービス「ecbo cloak」（エクボクローク）を運営するecbo（エクボ、東京都渋谷区）は26日、金沢駅構内、新神戸駅構内、広島駅構内の手荷物預かり所で、8月1日からサービスを開始すると発表した。

西日本旅客鉄道（JR西日本）と、2018年1月に締結した業務提携に基づき、北陸荷物（石川県金沢市）が運営する金沢駅の手荷物預かり所、JR西日本レンタカー&リース（兵庫県尼崎市）が運営する新神戸駅の手荷物預かり所、中国ジェイアールバス（広島市南区）が運営する広島駅の手荷物預かり所で提供する。

エクボクロークは、2017年1月に東京都内でスタートした、「荷物を預けたい人」と「荷物を預かるスペースを持つ店」をつなぐシェアリングサービス。